

道路舗装維持管理計画



写真：市道尾崎石田線（尾崎駅付近）

大阪府 阪南市

平成26年3月

令和2年3月改訂

目 次

1. 目的	・・・ P 2
2. 舗装維持管理の基本的な考え方	・・・ P 2
(1) 基本方針	
(2) 管理道路の分類	
(3) 管理基準	
(4) 舗装点検	
3. 計画の期間	・・・ P 4
4. 舗装状態の評価	・・・ P 4
5. 対策の優先順位	・・・ P 4
6. 対策内容と実施時期	・・・ P 5
7. 管理計画による効果と今後の運用	・・・ P 5

1. 目的

阪南市が管理する市道延長は約210kmであり、市民の暮らしを支える重要な都市基盤として、これまで維持管理に努めてきました。一方、高度経済成長期において急速に整備されたインフラなど、市域全域において老朽化が進み、今後、それらの維持管理の更新区間の増加が予測されます。

こうした中、将来にわたり道路維持管理費の平準化を図るとともに、より効率的計画的に道路の維持管理を行い、安全・安心な道路環境を確保するために、道路舗装状況の調査を実施し、その調査結果を踏まえ、道路舗装維持管理計画を策定しました。

2. 舗装維持管理の基本的な考え方

(1) 基本方針

これまでの本市の舗装修繕については、パトロール点検や市民の方の要望や通報を受けて実施箇所を選定を行ってきましたが、修繕対応の遅れにより基層や路盤の劣化が進行し、結果的に多額の費用を要するケースが生じています。

今回が初回調査であり、経年に渡る調査結果の蓄積ができておらず、市内全域に修繕が必要な路線があることから、管理基準を下回った路線について補修対象とします。

なお、今後の修繕計画の策定にあたっては、路面正常調査等を行い路線ごとに劣化状況を把握し、舗装の健全性を評価する指標を定め、道路特性や利用状況を踏まえ優先順位を設定します。

(2) 管理道路の分類

分類	対象道路
分類Cの道路	1級市道、2級市道、その他バス路線など重要路線と見込まれる路線（主要幹線道路）
分類Dの道路	上記以外のその他市道（生活道路）

(3) 管理基準

路面性状測定車で測った「ひび割れ率%」、「わだち掘れ量(mm)」、「平坦性(mm)」からMCI(Maintenance Control Index)値（維持管理指数）を算出し、管理基準5.0（MCI値）以下を舗装補修対象とします。

維持管理指数	舗装修繕の判断
$MCI \leq 3$	早急に修繕が必要
$3 < MCI \leq 4$	修繕が必要
$4 < MCI \leq 5$	修繕を行うことが望ましい
$5 < MCI$	望ましい管理水準
$MCI = 8.3$	ひび割れ・わだち掘れのない状態

(4) 舗装点検

「舗装点検要領」に基づき、定期的に舗装の点検を行い健全性の把握を行います。点検結果はデータベース化を図り、今後の維持管理のための基礎資料として、点検及び修繕等履歴等の蓄積を行います。

また、生活道路では路面性状車が通れない路線や、部分的に補修が必要な箇所が点在するため、目視による点検を実施します。

3. 計画の期間

当該個別施設計画の計画期間は5年とします。

4. 舗装状態の評価

路面性状車による点検・診断を実施した結果は以下のとおりです。

路面性状 調査路線内	上段:延長(m) 下段:面積(m ²)					
	0mm以上 10mm未満	10mm以上 20mm未満	20mm以上 30mm未満	30mm以上 35mm未満	35mm以上 40mm未満	40mm以上
0%以上	85,090	8,830	345	255	95	70
10%未満	361,738.5	43,768.5	1,427.0	993.5	356.5	224.0
10%以上	35,300	7,083	225	110	135	20
20%未満	141,155.0	32,464.3	1,081.5	390.0	429.5	64.0
20%以上	31,835	5,875	350	40	45	0
30%未満	99,615.5	26,860.5	1,731.0	130.0	186.0	0.0
30%以上	4,425	1,900	90	0	0	0
35%未満	16,810.5	8,683.0	350.5	0.0	0.0	0.0
35%以上	3,355	1,415	140	0	20	0
40%未満	13,218.0	6,308.0	748.0	0.0	64.0	0.0
40%以上	10,180	5,750	975	80	100	40
	42,520.5	26,963.5	4,525.5	400.0	460.0	184.0

MCI (維持管理指数)	3.0未満	3.0以上 5.0未満	5.0以上
延長(m)	11,700	71,668	120,805
面積(m ²)	53,534.5	262,761.3	517,555.0

補修の必要性	延長(m)	面積(m ²)
補修の必要なし	120,805	517,555.0
要観察	71,668	262,761.3
補修が必要	11,700	53,534.5
合計	204,173	833,850.8

5. 対策の優先順位

管理基準（MCI値）及び巡視等により現地確認の上、路面の損傷度、路線の重要性や利用頻度、交通量を総合的に判断し優先順位を決定します。

また、工事発注における効率性や連続的に路面損傷があると判定される区間から実施します。

6. 対策内容と実施時期

別添対象路線一覧表及び舗装維持管理計画図 参照

補修工法：2層打換え（表層＋基層）	補修単価：8,500円/m ²
1層打換え（表層）	4,600円/m ²
1層打換え（表層＋路盤置換え）	10,800円/m ²
舗装求積	6,207円/100m ²

（2層打換え工については、現地確認の上、舗装状況により切削オーバーレイ工を採用します。）

7. 管理計画による効果と今後の運用

今後、調査結果の蓄積や、今回作成した計画に基づく補修工事情報（舗装年度、舗装範囲、舗装工法、舗装構成等）の蓄積を行い、路面の劣化傾向等の把握ができるようにし、本計画を運用しながら、PDCAサイクルの中で、より地域特性に応じた維持管理計画へと発展させていきます。

対象路線一覧表

R4補修予定

補修予定 年度	分類	路線名称	延長 (m)	平均幅員 (m)	面積 (m ²)	補修工法	地区	概算補修費 (円)	備考
R4	D	尾崎37号線	55.0	4.4	242.00	打換え	尾崎	¥595,000	
R4	D	尾崎38号線	15.0	3	45.00	打換え	尾崎	¥595,000	
R4	D	尾崎40号線	20.0	3	60.00	打換え	尾崎	¥595,000	
R4	D	尾崎42号線	40.0	2.1	84.00	打換え	尾崎	¥594,000	
R4	D	尾崎43号線	40.0	2	80.00	打換え	尾崎	¥594,000	
R4	D	尾崎53号線	45.0	2.5	112.50	打換え	尾崎	¥594,000	
R4	D	東鳥取48号線	210.0	6.5	1365.00	打換え	上荘	¥7,548,000	
R4	C	尾崎自然田線	100.0	7	700.00	打換え	東鳥取	¥4,800,000	
R4	C	自然田石田線	180.0	3.5	630.00	打換え	東鳥取	¥3,680,000	
R4	D	東鳥取112号線	150.0	3	450.00	打換え	東鳥取	¥7,500,000	
R4	D	東鳥取222号線	100.0	8	800.00	打換え	東鳥取	¥3,917,000	
R4	D	東鳥取152号線	220.0	6.5	1430.00	打換え	緑ヶ丘	¥6,530,000	
R4	D	西鳥取9号線	70.0	2.1	147.00	打換え	西鳥取	¥1,000,000	
R4	D	西鳥取29号線	70.0	6	420.00	打換え	西鳥取	¥2,188,000	
R4	D	西鳥取145号線	155.0	4.5	697.50	打換え	舞	¥9,000,000	
R4	D	西鳥取158号線	120.0	4	480.00	打換え	舞	¥7,000,000	
R4	D	西鳥取217号線	90.0	6	540.00	打換え	舞	¥5,394,000	
R4	C	石田箱作線	130.0	7.5	975.00	打換え	光陽台	¥4,449,000	
R4	D	西鳥取114号線	40.0	5.3	212.00	打換え	光陽台	¥1,272,000	
R4	C	箱作駅前線	300.0	11.5	3450.00	打換え	下荘	¥18,374,000	
R4	D	下荘24号線	100.0	4.5	450.00	打換え	下荘	¥2,400,000	
R4	D	下荘137号線	100.0	4	400.00	打換え	下荘	¥2,400,000	
R4	C	箱の浦線	60.0	7.3	438.00	打換え	箱の浦	¥2,470,000	
R4	C	丘陵西線	50.0	8	400.00	打換え	桃の木台	¥3,211,000	
R4	C	下荘漁港線ほか	-	-	27000.00	舗装求積測量	箱作	¥1,676,000	

道路舗装維持管理計画図

凡例

- 補修が必要
- 要観察
- 補修の必要なし

1/25,000

